

授業科目等の概要

(医療専門課程 作業療法科 昼間I部) 2022年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			国際教育学	英会話を通してコミュニケーション能力を身につける。国際的な感性を身につける。	1年・前期	30	2	○			○		○	
○			情報処理 I	コンピューターの基本的な操作方法を学び、ワード・エクセル・パワーポイントが使用することができる。	1年・前期	30	2	○			○		○	
○			情報処理 II	統計学の基本的な考え方を身につける。また、コンピューターを使用して統計処理や簡単なプログラミングができる。	3年・前期	15	1	○			○		○	
○			文章表現	医学用語（専門用語）の読み書きを学び、文章の理解力や図表を解釈する力を身につける。	1年・前期	30	2	○			○		○	
○			心理学	心理学の基礎、心理テストなどを通して人の心の動きを学び、相手を理解するための基礎知識を身につける。	1年・前期	30	2	○			○		○	
○			自然科学	力学や生物の構造を学び、人体の基礎知識と運動の基礎知識を身につける。	1年・前期	30	2	○			○		○	
○			保健体育	一般スポーツおよび車椅子スポーツを行い、障害者スポーツの特性を説明することができる。	1年・後期	45	1			○	○	○	○	
○			人間関係論	人間関係の築き方や相手との関わり方、コミュニケーションのとり方について学び対人関係の方法を実践することができる。	1年・後期	30	2	○			○		○	
○			解剖生理学 I	人体の構造・機能について、運動器を中心に解剖学・生理学を系統立てて学ぶ。	1年・前期	30	2	○			○		○	
○			解剖生理学 II	人体の構造・機能について、神経系・循環系を中心に解剖学・生理学を系統立てて学ぶ。	1年・前期	30	2	○			○		○	
○			解剖生理学 III	人体の構造・機能について、消化器系を中心に解剖学・生理学を系統立てて学ぶ。	1年・後期	30	2	○			○		○	
○			解剖生理学 IV	人体の構造・機能について、内分泌系、免疫系、神経系、生殖器系を中心に解剖学・生理学を系統立てて学ぶ。	1年・前期	30	2	○			○		○	

○		解剖生理学 V	人体の構造・機能について、循環・泌尿器を中心に解剖学・生理学を系統立てて学ぶ。	1年・前期	30	2	○			○										
○		解剖生理学 VI	人体の構造・機能について、循環・泌尿器を中心に解剖学・生理学を系統立てて学ぶ。	1年・後期	30	2	○			○										
○		解剖生理学演習 I	解剖生理学で学んだことに基づいて、特に運動器（主に骨）に関する領域について運動学や評価学との連携について演習を行う	1年・前期	30	1				○										
○		解剖生理学演習 II	解剖生理学で学んだことに基づいて、特に運動器（主に筋）に関する領域について運動学や評価学との連携について演習を行う	1年・前期	30	1				○										
○		解剖生理学実習 I	人体の構造に基づいて、人体をモデルにして触診をしながら身体の構造を学ぶ。	1年・後期	45	1					○		○							
○		解剖生理学実習 II	人体の機能に基づいて、人体をモデルにしてその検査を数値化して身体の機能を学ぶ。	1年・後期	45	1					○		○							
○		基礎運動学	運動器の構造と機能について学び、人体の運動の基礎を理解する。	1年・後期	30	1				○			○							
○		運動学	人体の関節の構造・筋の働きを学び、人体の運動の仕組みを理解する。	2年・前期	30	1				○			○							
○		運動学 実習	運動を観察・計測し、分析することで、基礎運動学、運動学で学んだ知識を深める。	2年・後期	45	1					○		○							
○		人間発達学	ヒトの心身のはたらき（運動機能、認知機能、社会性等）について、発達段階の特徴を学ぶ。	1年・後期	15	1	○						○							
○		病理学	疾病を細胞・組織の形態的な病変レベルで学ぶ。	1年・後期	15	1	○						○							
○		外科学	疾病を細胞・組織の形態的な病変レベルで学ぶ。	1年・後期	15	1	○						○							
○		一般臨床医学	公衆衛生学（生活・疫学など）と栄養学（栄養の基礎）について学ぶ。	1年・後期	15	1	○						○							
○		薬理学	生化学、薬の作用様式・作用機序などを学び、薬物治療の基礎を理解する。	1年・後期	15	1	○						○							
○		内科学	内科的疾患の病態・診断・治療について学ぶ。	2年・前期	30	2	○						○							



○		基礎作業学Ⅰ	作業とは何か。作業療法の基本的な枠組みについて学ぶ。	1年・前期	15	1	○			○		○		
○		基礎作業学Ⅱ	作業について、作業療法の理論(作業科学・MOHO・MTDLPなど)を学ぶ。	2年・後期	15	1	○			○		○	○	
○		作業学 実習Ⅰ	基礎となる作業活動(革細工・陶芸・七宝焼き)を経験し、必要な道具や手順について学ぶ。また、作業を分析する視点を学ぶ。	1年・前期	45	1			○	○		○	○	
○		作業学実習Ⅱ	基礎となる作業活動(籐細工・あんでるせん・織物)を経験し、必要な道具や手順について学ぶ。また、作業を分析する視点を学ぶ。	2年・後期	45	1			○	○		○		
○		作業療法研究法	作業療法に関連のある研究法について理解する。	3年・前期	15	1	○				○			○
○		作業療法管理学	管理・マネジメントの考え方を学び、組織運営・職場管理の考え方を身に付ける。	2年・後期	30	2	○				○		○	
○		作業療法評価学 概論	臨床で活用する評価の意義を学び、観察や面接などの種類・方法について理解する。	1年・後期	15	1	○				○			○
○		身体機能評価学	身体機能評価の種類・方法について学ぶ。	2年・前期	30	1		○			○		○	
○		身体機能評価学実習	身体機能評価について、適切な検査方法を学び、実施する。	2年・前期	45	1			○	○		○		
○		認知・精神機能評価学	認知・精神機能評価法を学び、作業療法へ関連する情報としての解釈まえを身につける。	2年・前期	30	1		○			○		○	○
○		認知・精神機能評価学実習	認知・精神機能評価法を実施し、その情報の解釈を行うことで、思考を深める。	2年・前期	45	1			○	○		○	○	
○		作業治療学 概論	作業療法治療の基本的な枠組みを学び、作業治療の概要を知る。	2年・前期	15	1	○				○		○	
○		作業治療学 演習Ⅰ	中枢神経系疾患および整形外科系疾患の治療技法を実施し、作業療法の技術を身につける。	2年・後期	30	1		○			○		○	○
○		作業治療学 演習Ⅱ	老年期障害および内部疾患の治療技法を実施し、作業療法の技術を身につける。	3年・後期	30	1		○			○		○	○
○		身体機能治療学Ⅰ	中枢神経系疾患について、障害像・作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	2年・前期	30	2	○				○		○	○

○		身体機能治療学Ⅱ	整形外科系について、障害像・作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	2年・前期	30	2	○			○	○	○	
○		身体機能治療学Ⅲ	内部疾患について、障害像・作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	3年・前期	30	2	○			○	○		
○		精神機能治療学Ⅰ	精神病・神経病の精神症状（発達障害を含む）について、障害像・作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	2年・前期	30	2	○			○		○	
○		精神機能治療学Ⅱ	精神病・神経病の精神症状（発達障害を含む）について、障害像・作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	2年・前期	30	2	○			○		○	
○		老年期治療学	老年期障害および内部疾患について、障害像・作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	2年・後期	30	2	○			○		○	
○		小児期治療学	発達障害児の障害像を知り、作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	3年・前期	30	2	○			○		○	
○		高次脳機能治療学	高次脳機能障害について、病巣と病態および作業療法評価・治療の基本的な考え方を身につける。	2年・後期	30	2	○			○		○	
○		義肢装具学	義肢の構造と適応、装具の種類と適応、スプリントの製作実習を行い装具療法の概要を理解する。	2年・前期	15	1	○			○		○	
○		日常生活活動学	日常生活活動（ADL）の概念を理解し、ADL支援を行うための過程について学ぶ。	2年・前期	30	2	○			○		○	○
○		日常生活活動学実習	日常生活活動（ADL）について、障害が及ぼす影響を学び、それに対する援助・介助方法について実施する。	2年・前期	90	2			○	○		○	
○		生活支援機器学	対象者が自らやりたいことができる生活を達成するために必要な道具や福祉用具、関連する制度について学ぶ。	2年・前期	30	1	○			○		○	
○		地域作業療法学	保健・医療・福祉の概念や関連法規、地域での作業療法実践について学び、地域作業療法の特徴や広がりを理解する。	3年・前期	30	2	○			○		○	
○		地域作業療法学演習Ⅰ	地域で生活する対象者の現状を知るために、コミュニケーションをとりながらラポールを築く。福祉領域での実習を含む。	1年・後期	30	1	○			○		○	○
○		地域作業療法学演習Ⅱ	地域で生活する対象者の現状を知るために、コミュニケーションをとりながらラポールを築く。福祉領域での実習を含む。	2年・後期	30	1	○			○		○	○
○		臨床実習Ⅰ	学外実習。臨床実習指導者の下、見学を中心に、施設で行われている作業療法実際を知り、地域社会における作業療法の役割を学ぶ。	1年・後期	90	2			○	○	○	○	○

○		臨床実習Ⅱ	学外実習。臨床実習指導者の下、見学・実技を中心に作業療法評価の実際を体験し、教授を受けながらの治療の流れを学ぶ。	2年・後期	360	8				○	○	○		○	○
○		臨床実習Ⅲ	学外実習。臨床実習指導者の下、見学・実技を中心に作業療法の実際を体験し、教授を受けながらの治療の流れを学ぶ。	3年・前期	540	12				○	○	○		○	○
○		地域実習	学外実習。臨床実習指導者の下、地域サービスで、見学を中心に地域リハの実際を体験し、地域リハの流れを学ぶ。	3年・後期	45	1				○	○			○	
○		臨床作業療法学Ⅰ	学内実習・演習。作業療法士として適切な態度や行動について学び身につける。	1年・後期	30	1				○		○	○		
○		臨床作業療法学Ⅱ	学内実習・演習。作業療法評価を行う上で適切な技術・態度について学び、身につける。	2年・後期	30	1				○		○	○		
○		臨床作業療法学Ⅲ	学内実習・演習。作業療法を行う上で適切な技術・態度・について学び、筋道だてた考え方を身につける。	3年・前期	30	1				○		○	○		
○		作業療法学総論Ⅰ	国家試験に向けて、知識のまとめをするとともに、専門基礎分野の知識を深める。	3年・前期	15	1				○		○	○		
○		作業療法学総論Ⅱ	国家試験に向けて、知識のまとめをするとともに、専門分野の知識を深める。	3年・後期	15	1				○		○	○		
○		キャリア教育Ⅰ	職業人として、職業観を身に付けるとともに、必要な知識・技術を高める。	2年・後期	15	1				○		○	○		○
○		キャリア教育Ⅱ	自身の職業観に基づいて、職業人としての意識を高め、就労に向けて行動する。	3年・前期	15	1				○		○	○		○
				82科目	3210単位時間( 133 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の結果、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。		1 学年の学期区分	前後期
		1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。